
「当院で経験した過去20年間の腸回転異常症の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2005年1月1日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学病院 小児外科を受診し、腸回転異常症と診断され、手術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

腸回転異常症においてどのような患者さんで腸管を温存できなかったのかを検討し、今後の治療に役立てるのを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後 ～ 2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年3月17日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

- ・患者背景（年齢、体重、在胎週数、併存疾患）
- ・症状（嘔吐、腹痛、血便）
- ・術前検査所見（バイタルサイン、乳酸値、AST、CK、LDH、CRP）
- ・術前画像所見（レントゲン、CT、超音波、透視検査）
- ・術前情報及び術中所見（発症から手術までの時間、腸管壊死所見、残存小腸の長さ、捻転の程度、手術時間、出血量）
- ・術後情報（合併症、フォローアップ期間）

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 小児外科において、研究責任者である中島優太が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

腸回転異常症と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等

を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 小児外科 中島優太 （研究責任者）
- ・埼玉医科大学病院 小児外科 田中裕次郎
- ・埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木啓介
- ・埼玉医科大学病院 小児外科 五嶋翼
- ・埼玉医科大学病院 小児外科 関千寿花
- ・埼玉医科大学病院 小児外科 吉田美奈

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児外科 中島優太

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8

電話：049-276-1654（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：nakashima.yuuta@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当院で経験した過去20年間の腸回転異常症の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児外科 中島優太